

M-GTA研究会：定例研究会

第12回 修士論文発表会

概要：①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**——領域的知見と方法的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の**中間発表**——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。

日時：2019年7月20日（土） 13：00～18：00

会場：大正大学4号館2階421教室

https://www.tais.ac.jp/utility/access_map/

参加スーパーバイザー：阿部正子（新潟県立看護大学）、小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、唐田順子（国立看護大学校）、木下康仁（聖路加国際大学）、倉田貞美（浜松医科大学）、坂本智代枝（大正大学）、佐川佳南枝（京都橘大学）、丹野ひろみ（桜美林大学）、都丸けい子（聖徳大学）、根本愛子（東京大学）、林葉子（[株]JH産業医科学研究所）、松戸宏予（佛教大学）、山崎浩司（信州大学）

プログラム：

13：00～13：10 開会の挨拶・趣旨説明 林葉子

13：10～14：30 成果発表 [SV： 阿部 正子]

「中国人看護師の異文化間コンフリクトの認知から帰結に至るプロセスの検討
—離職意思の有無による相違—」

張 丹 （武蔵野大学大学院 言語文化研究科言語文化専攻）

14：40～16：00 成果発表 [SV： 坂本智代枝]

「日本国内における日本人の留学生との親友関係構築と維持のプロセス」

張 銀暁 （武蔵野大学大学院博士後期 言語文化研究科 言語文化専攻
異文化コミュニケーション 分野）

16：15～17：30 ミニワークショップ

進行：山崎浩司

「 M-GTAの分析テーマの設定と分析方法 」

SVによるグループワーク

17：30～17：50 総括コメント 木下康仁

17：50～18：00 閉会の挨拶 阿部正子

申込：会員は研究会HPかMLから「7月18日(木)21時」までにお申し込みください。非会員は「7月12日(金)」以降に研究会HPで公開される参加申込URLから、「7月18日(木)21時」までにお申し込みください。定員になり次第〆切ります。なお、非会員は資料代2,000円を申し受けます。

問合せ： 'M-GTA研究会事務局' m-gta@accelight.co.jp

担当：定例研究会委員会（竹下・坂本・阿部・都丸・宮崎）